

令和3年12月7日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学多言語文化総合教育センター主催
『現代のグローバル社会の課題に関する学際的国際シンポジウム』の
開催について

熊本大学大学教育統括管理運営機構附属多言語文化総合教育センターでは、この度、下記のとおり、『現代のグローバル社会の課題に関する学際的国際シンポジウム』を開催します。

本シンポジウムは、「持続可能なポストパンデミックの世界」をテーマに、地域社会、文化、政治、Society5.0、教育等、様々な観点からパンデミック後の世界について課題を探り、SDGs 達成への道筋について思索する場として企画しました。パネリストの方々は、国内だけではなく、アジア、ヨーロッパ等世界各国から参加されます。

また、学際的な視点から現代のグローバル社会の課題に取り組む当センターが提供する教育活動を体感していただける内容となっており、本学のグローバルリーダーコース生をはじめとした地域の大学生や高校生等も参加予定です。

詳細については、添付のポスターによりご確認ください。

当日の取材方、よろしくお願いたします。

記

【日 時】 令和3年12月11日（土）9：30～17：30

【実施方法】 オンライン（Zoom 使用）

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<https://www.c3.kumamoto-u.ac.jp/7426/>

【お問い合わせ先】

熊本大学学生支援部

国際教育課国際人材教育チーム

担当：池田

E-mail: glc@jimu.kumamoto-u.ac.jp

現代のグローバル社会の課題に関する 学際的国際シンポジウム2021 ～持続可能なポストパンデミックの世界～



日時 2021年12月11日(土) 9:30~17:30

募集人数 オンライン 250名 (Zoom使用)

使用言語 英語・日本語

申込方法 下記のURLもしくは右記のQRコードからお申し込みください。

<https://tinyurl.com/eektjt3u> (申込期限: 12月5日(日))

問合せ先 熊本大学多言語文化総合教育センター glc@jimu.kumamoto-u.ac.jp



09:30 開会

09:50 フォーラム: 持続可能なポストパンデミックの世界

松田 素二 (総合地球環境学研究所プログラムディレクター・特任教授)
Kathleen Aviso (デラサール大学教授) Lander Sims (熊本大学講師)

10:40 セッション1:異なる文化的視点から地域社会の持続可能性について考える

松田 素二 (総合地球環境学研究所プログラムディレクター・特任教授)
川瀬 慈 (国立民族学博物館准教授) 高橋 進之介 (ヴィクトリア大学講師)
慶田 勝彦 (熊本大学教授) 下田 健太郎 (熊本大学准教授)
小池 ウルスラ ヘレナ (熊本大学教授) Joshua Rickard (熊本大学特任准教授)

12:00 休憩

日本刀演舞

13:00 セッション2: パンデミック時の国際社会における人間関係の比較研究

Reuben Babatunde Lewis (シエラレオネ大学助教) Krasny Jaroslav (広島大学)
Lander Sims (熊本大学講師) Jincao Wang (熊本大学特任講師)
Florian Alexander Axt (熊本大学特任助教)

14:10 セッション3: カーボンニュートラルなSociety5.0実現に向けた世界の展望

大垣 英明 (京都大学教授) Jorge Beltramini (クイーンズランド工科大学教授)
Anke Krueger (ヴェルツブルグ大学教授) Kathleen Aviso (デラサール大学教授)
Pattaraporn Kim-Lohsoontorn (チュラロンコン大学准教授)
Armando T. Quitain (熊本大学教授) Hari Prasad Devkota (熊本大学特任助教)

15:20 セッション4: 日本留学で学ぶ日本語と日本文化

Faith Muchemwa (元留学生・ジンバブエ医師) Colling Young (元留学生・イギリス日本刀道場主)
マスデン 眞理子 (熊本大学准教授) 鹿嶋 恵 (熊本大学特任教授)
吉里 さち子 (熊本大学特任准教授) 崔 相振 (熊本大学特任助教)

16:30 ポスターセッション

熊本大学とITSの学生による学修成果発表

17:10 閉会

